



# 赤麻小だより



令和3年度 第8号

令和3年9月16日

発行：栃木市立赤麻小学校長 印部 稔

【学校教育目標】 あかるい子 かしい子 たくましい子

## 2学期がスタートして半月



2学期が始まって半月がたちました。この2学期は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下でのスタートとなり、最初の3日間は給食なしの午前中授業、次の2週間は全学年、40分の短縮授業による早下校となりました。せっかく2学期が始まりましたが、少し残念なスタートでした。しかし、この間も本校児童の感染はなく、保護者の皆様のご協力には感謝の気持ちでいっぱいです。ただ、この感染拡大の影響で、予定されていた学校行事が延期になったり、内容が変更になったりしました。現時点での変更をお知らせします。

- 運動会→9月18日(土)を11月20日(土)に延期  
※11月後半実施は少し寒いかも知れませんが、保護者の方々にご覧いただくことを考えるとやはり土曜日実施となります。既に入っている行事(授業参観や幼稚園、保育園の運動会等)を考慮するとこの時期になってしまいます。ご了承ください。
- 修学旅行→10月1日(金)、2日(土)を11月26日(金)、27日(土)に延期  
行き先を福島方面から日光に変更。  
※こちらも寒い時期ですが、宿泊地や見学先の確保の関係上、この2日間になりました。
- 5年宿泊学習→10月13日(水)、14日(木)実施は変更なし。  
藤岡地区の小学校4校の合同での実施ではなく、本校のみでの実施。  
※他の小学校との交流を楽しみにしていた児童もいたようですが、感染状況を考え、本校単独での実施となりました。(他の3校も単独で別の日に実施)
- 3年校外学習→10月5日(火)を11月24日(水)に延期。
- わたらせ風の子音楽祭→中止

なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、さらに延期や中止、変更になる場合もありますことをご承知おきください。

### タブレットの活用を進める(その2)・家への持ち帰りに向けて

年度当初の予定では、2学期に入ってからタブレットの使用頻度を徐々に増やして、子どもたちが自分で操作できるようになってから家に持ち帰らせる計画でしたが、この8月の新型コロナウイルス感染の急拡大を受け、いつでもオンライン授業に移行できる体制を作る必要が出てきました。そこで夏休み中に情報教育担当の教員を中心に準備計画を立て、職員の研修を行い、2学期に入ってからすぐの3日間で家への持ち帰りができるよう指導しました(学年の発達段階や実態に応じて、「使い方のきまり」、「Wi-Fi接続の仕方」、「Teamsの入り方と使い方」、「e-ライブラリの使い方」を指導しました)。保護者の皆様にも、急な準備物のお願いや家でのWi-Fi接続の確認のお願いなど、ご無理を申し上げましたが、全ての保護者様にご協力いただいたお陰で、実際に持ち帰りを行い、さらにTeamsやe-ライブラリの試行も行うことができました。

まだまだ課題(実際にやってみて分かったことがいくつかあります)もあり、スムーズに行かない面もありますが、今後、家に持ち帰って活用することが多くなると思いますので、保護者の皆様には引き続き、ご協力よろしくお願ひします。



て低学年の子どもたちも先生の話をよく聞いたり、上手に操作できるようになってきました。



タッチペンの使い方の指導



Teamsの画面



持ち帰りに備えてアダプターに名前のシールを貼りました

### 感染防止対策の強化

この夏の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、メールでもお知らせしたとおり、1学期以上に感染防止対策を強化しています。特に朝の昇降口での健康チェックをさらに厳格に行うことにしました。児童本人はもちろん、ご家族の方についても、鼻水や咳など少しでも異常があった場合は登校を控えていただくことを徹底しています。また、体調チェックカードで異常が確認されたときや保護者の方の記入がされていない場合は、すぐに電話での連絡をしています。毎日のこと、また非常に忙しい朝のことなので、保護者の皆様のご負担となっているのは重々承知していますが、今後ともご協力をよろしくお願い致します。



感染防止対策として、もう一つ、夏休み中に「坂入塗装興業」様のご好意により、無料で「光触媒加工」を全ての教室、廊下、職員室、校長室に施してもらいました。これによる除菌、抗菌効果に加え、マスク着用や消毒の徹底、そして換気にも十分な注意を払い、学校での感染を防止していきたいと思えます。

### 学校課題研究の推進（その2）・様々な工夫

学校課題研究の推進のために、授業内容の工夫改善以外にも様々な工夫を行っています。研究テーマのサブタイトルにある「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業」とは、言い換えれば「すべての子にとってわかりやすい授業」ということです。そのために授業の中身の改善だけでなく、教室の学習環境を全クラス統一して整えています。その具体的な内容として①教室前面の掲示物の簡素化②机上の整理（机に置く物の統一）③授業の見通し（流れ）を示すことを行っています。①は授業に関係のない余計な物は見えないようにして、授業に集中して取り組めるようにするため、②は①と同じ意味合い（余計な物を机に置かない）に加えて、学校の学習におけるルールを明確にしながら、ルールを守る体験を積み重ねるため、③は「今自分は何の話をしているのか、何に参加しているのかを目で見て確認できるようにすることで先の見通しを立てて主体的に授業に参加できるようにするため、のものです。このようなユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境の整備の他、1階廊下に設けた「算数コーナー」によって、これまでの学習の学年ごとのつながりを子どもたちはもちろん、教員も確認し、現在の学習に繋げていけるように工夫しています。授業改善の他にもこのような様々な工夫を行いながら学校課題研究を推進し、子どもたちの学力向上を目指しています。



【教室前面の目隠し布】



【目隠し布はボランティアさんに全クラス分作っていただきました】



【授業の見通し（流れ）を示す】



【1階廊下の算数コーナー】

### 廃品回収へのご協力に感謝！



昨年、新型コロナウイルス対応のため、一斉の回収ではなく、学校に持参していただく形で実施してきた廃品回収ですが、写真のように今年もたくさんのご協力をいただきました。保護者の皆様、地域の皆様ありがとうございました。